

新潟柳都 中学校区（ 日和山 小， 新潟柳都 中）

【目指す子どもの姿】

仲間や地域とともに高め合いながら、未来を切り拓く下町の子

〈 「目指す子どもの姿」 の設定の仕方 〉

【R元年度】

- ① 小・中学校職員混合の小グループを編成
- ② 各校で見られる児童生徒の様子を「素晴らしいところ」「課題となるところ」の2点から具体的に記述する。
- ③ グループ内で出された意見を、グルーピング・ラベリングで整理する。
- ④ 「目指す姿」を具体的にまとめ、グループごとに提案する。（H30年度案の再検討）
- ⑤ 提案を受け、小中の管理職・連携担当職員が検討して設定する。

◆共通プログラム

- ① 「9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間」における小中一貫した教育としての取組

別紙参照：様式2「各中学校区における小中一貫した教育の取組2」

〈 「身に付けさせたい資質能力」とその実現に関わる方法について 〉

【身に付けさせたい資質・能力】

- 課題を発見，設定し，追求する能力
- 課題解決に向けて意欲的に追求し，自己の生き方を考える能力
- 友達と協同して課題解決するためのコミュニケーション能力
- 積極的に地域社会とかかわり，貢献・発信する能力

【その実現に関わる方法】

- ・ 題材・学習内容・学習活動などの中で，小中一貫の柱とするものを，小中職員で確認。
- ・ 小中学校で設定してあった身に付けさせたい資質・能力を確認。共通部分が多かったため，小中一貫が伝わりやすくなるような文言に整えて，再設定した。
- ・ 今後，学年や単元ごとに小中の指導計画に明記し，見える化を推進する。

② 「9年間を見通した学習の仕方」の取組

「9年間を見通した学習の仕方」の内容

<授業の在り方>

- ① 「学習課題」と「まとめ」のある授業（「学習課題」は赤枠、「まとめ」は青枠で囲む）
- ② 「主体的・対話的で深い学び」のある授業（話し合う必然がある課題・場面の設定）
- ③ 「振り返り」のある授業（解決した学び方・獲得した知識や技能・情意）
- ④ 板書の工夫

<児童・生徒に身に付けさせたい事柄>

- ① 「話す」「聞く」スキル
- ② 学びが見えるノート
- ③ 授業と関連のある家庭学習

〈「9年間を見通した学習の仕方」の設定・運用の仕方〉

H30 までに設定された「学習スタンダード」を、小中それぞれの今年度初めの職員会議で学習指導部から説明し、周知・徹底を図った。

各校の学習指導部・研究推進委員会を中心に実施状況を確認したり、管理職が授業参観したりして、適宜意識付けを行った。また、学校評価や「全国学力・学習状況調査」「新潟市生活・学習意識調査」などの結果を踏まえて、内容の加除・修正を進めていく。

小中の授業交流は、残念ながらまだ今年度は行えていないが、今後実現していきたい。

③ 「小中一貫合同研修会」の取組

「小中一貫合同研修会」のねらいや次第・研修内容の概略

11月13日（水）実施 会場：北部総合コミュニティセンター

<ねらい>

- ・新潟市の小中一貫教育についての理解を深めると共に、新潟柳都中学校区としての取組、実践内容等について確認し、今後の教育活動の充実につなげる。

<内容の概略>

- ① 「新潟市の小中一貫教育」についての説明
- ② 「目指す子どもの姿」設定に向けたグループワーク
- ③ 懇親会（17：00～）

〈「小中一貫合同研修会」の実施方法の工夫〉

- ・小中の年間行事予定を確認しながら、開催日時を設定。
- ・「長期休業」や中学校の部活動が休止している「定期テスト前」などを中心に開催日を探り、職員の負担軽減が図られるよう考慮する。
- ・研修だけで終わらず、小中の職員同士の顔合わせができたり、和やかでくだけた雰囲気での交流も図られたりするよう、懇親会も合わせて設定した。多くの参加者を得るため、研修と同一会場で実施し、会費もできるだけ抑えて実施した。

④ 「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の取組

「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」のねらいやメンバー・次第・協議内容の概略

○ コミュニティスクールの実施に合わせて発足，開催を予定している。

<メンバー>

・小中校長，教頭，教務主任，総合的な学習の時間主任，コミ協会長，事務局等

<協議内容>

・学校の取組説明 ・小中一貫教育説明 ・小中地域合同活動カレンダーづくり＝協力体制づくり

〈「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の実施方法の工夫〉

- ・学校が地域と活動しやすくなるように，小・中・地域の活動が一覧となったカレンダーを作成する。
- ・目指す姿の設定につながるように，地域の代表としての，期待する子ども像をお聞きする。
- ・地域との対話は，様々な所から行うように指示されている。小中一貫だけでなく他の議題等にも関連性をもたせて意見をいただく。

◆独自プログラム （「目指す子どもの姿」の達成を図る教育活動は◎）

① 何を（取組内容）： **特別活動を「窓」にした生徒指導 ◎**

【ねらい】

事前活動としての「目指す姿」の設定から事後活動の「振り返り」までをサイクルとし，生徒自らが自己の成長を実感すると共に，他者と協働しながら，よりよい在り方について考える。

【いつごろ（時期）】

通年（学校行事の開催時期に合わせて）

【どのように（取組方法）】

学級活動部，特別活動部，行事实行委員会等の連携により，事前・当日・事後の活動をリンクさせると共に，次の活動・次年度の同じ活動につながるものとなるよう意識付けを行う。

ピアサポートの視点，ファシリテーションなどを効果的に取り入れて，話し合い活動の充実を図ったり，話し合いスキルの向上につなげたりする。

② 何を（取組内容）： **中学校英語科による小学校外国語活動への乗り入れ授業**

【ねらい】

小学生を対象にした中学校職員による授業を実施することにより，「中1ギャップ」の解消につなげる。また，小中授業交流の場，児童の実態把握につながる場としても活用する。

【いつごろ（時期）】

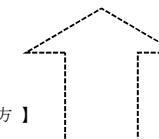
2月～3月

【どのように（取組方法）】

中学校職員が小学校に出向き，6年生を対象にした英語活動の授業を実施する。

【中学校区における目指す子どもの姿】

仲間や地域とともに高め合いながら、未来を切り拓く下町の子



【「目指す子どもの姿」を実現するために、生活科・総合的な学習の時間で行う教育活動】

【中学校区における身に付けさせたい資質・能力】

- 課題を発見、設定し、追求する能力
- 課題解決に向けて意欲的に追求し、自己の生き方を考える能力
- 友達と協同して課題解決するためのコミュニケーション能力
- 積極的に地域社会とかかわり、貢献・発信する能力

【9年間を見通した学習の仕方】

<授業の在り方>

- ① 「学習課題」と「まとめ」のある授業（「学習課題」は赤枠、「まとめ」は青枠で囲む）
 - ② 「主体的・対話的で深い学び」のある授業（話し合う必然がある学習課題・場面設定）
 - ③ 「振り返り」のある授業（解決した学び方・獲得した知識・技能・情意）
 - ④ 板書の工夫
- <児童・生徒に身に付けさせたい事柄>
- ① 「話す」「聞く」スキル
 - ② 学びが見えるノート
 - ③ 授業と関連のある家庭学習

【独自プログラム】

「目指す子どもの姿」の達成を図る教育活動は◎

<特別活動を窓にした生徒指導>◎

- 1 ビアサポート
- 2 行事等において、「目指す姿」と「振り返り」の場を設定する。
- 3 ファシリテーションなど、話し合いの場を設定したり、スキルを身につけさせたりする。

<中学校英語科による小学校英語活動への乗り入れ授業>

新潟柳都中学校

| 学年 | 題材・単元名 | 主な学習内容 | 目指す子どもの姿にせまるための手立て |
|----|--|--|---|
| 3 | ○商人体験（修学旅行） ○早川堀再生祭り参画 ・まち歩きガイド ・高齢者・子どもたちとの交流活動 ○自主的な地域活動参画 | 地域に貢献 ○地元の特産品を修学旅行先で販売するために、商品の良さと発信について考えたり、工夫したりする。 ○地元活性化のために、地域の祭りへの参画や貢献の仕方を考えたり、実践を通して自己の在り方を考える。 | ○主体的に地域の方々と関わったり、貢献したりし、地域を持続させたり創造したりすることの大切さを感じる。 |
| 2 | ○職場体験 ○地域と関西の比較（修学旅行事前学習） | 地域で学ぶ ○職業体験を通し、地域の方々の職業や地域への考え方に触れ、自己の職業観や地域に対する考えをもつ。 ○北前船や関西の町づくりについて調査することを通して、地域の歴史や文化的な良さを認識し、誇りをもつ。 | ○地域の方々との対話を通し、地域の良さを知ると共に、課題解決の必要性を確認する。 |
| 1 | ○フィールドワーク ○七夕飾り | 地域を学ぶ ○地域の成り立ちや課題について知る。 ○小学生と協力し、地域商店街の七夕飾りを作成したり、飾り付けたりし、貢献することの必要感をもつ。 | ○小学校の学びをもとに、自分たちの興味関心に基づき、さらなる地域への理解を深める。 |

日和山小学校

| 学年 | 題材・単元名 | 主な学習内容 | 目指す子どもの姿にせまるための手立て |
|----|--|--|--|
| 6 | ○大好きにいがた体験 「下町とともに生きる」 | ○下町の商店街、様々な職業に携わる人々や西海岸を守るために努力される人々等、地域を支えてくださっている方々について調べ、自分の生き方について考える。 | ○地域の発展に貢献している方々に出会わせる。 ○貢献している方々の生き方に着目させる。 ○自分の生き方や地域への貢献の仕方を考えさせる。 |
| 5 | ○大好きにいがた体験 「共に生きる」 | ○地域の高齢者の実態を知る。 ○地域の高齢者のために自分ができることを、地域の方と一緒に考える。 ○学校の茶の間を開催し、自分が考えた活動を実践する。 ○振り返りを行い、自分ができることを再考する。 | ○地域の高齢者と触れ合わせる。 ○下町のよさや課題に着目させる。 ○自分ができることを考えさせる。 |
| 4 | ○大好きにいがた体験 「港町下町」 | ○地域にある自然や、港の歴史や働き、役割等について調べ、これまでの地域の発展や、これからの下町について考える。 | ○地域にあるものの歴史や役割等を調べさせる。 ○下町の「これまで」と「これから」を考えさせる。 ○下町への愛着をもたせる。 |
| 3 | ○大好きにいがた体験 「日和山お宝たんけんたい ～下町の神社・お寺を調べよう～」 | ○地域にある神社・寺について調べる。また、なぜ多いかについて考える。 ○地域のお宝を見つけて、カルタにして紹介する。 | ○地域にある建物や施設、名産品など、関心のあるものを調べさせる。 ○地域のよさを発見させたり再確認させたりする。 ○下町に親しみをもたせる。 |
| 2 | ○「下町たんけん」 | ○地域にある商店街や公共施設等について、どんなものがあるのか、どんな人がいるのか等を調べる。 | ○町たんけんをさせる。 ○地域にあるお店や施設などを調べさせる。 ○下町の伝統や人情に気付かせる。 |
| 1 | ○「わかしのあそび」 | ○地域のおじいさんやおばあさんを学校に招待し、昔の遊びを教わる。 | ○地域のおじいさんやおばあさんを学校に招待する。 ○おじいさんやおばあさんに積極的にかかわらせる。 ○おじいさんやおばあさんの温かさや遊びの上手さに気付かせる。 |